

オルビス、「甲州市オルビスの森」で植林イベントを実施 ～社会貢献活動の一環として山梨県甲州市の里山を再生～

ポーラ・オルビスグループのオルビス株式会社(本社:東京都品川区、社長:町田恒雄)は、山梨県甲州市に広がる荒廃した森林を里山として再生するプロジェクトを本格的に開始し、4月14日(土)に従業員ボランティア81名が植林活動を行いました。



この森は甲州市塩山上小田原の市有林約100ha(東京ドーム約21個分の広さ※)で、公益財団法人オイスカの仲介により、甲州市と市有林保全に向けた協定を2011年1月31日に締結し、「甲州市オルビスの森」と名づけられました。オルビスは、今後10年間にわたって植林や間伐、下草刈りなどの整備を行い、人と森をつなぐ里山として再生させるプロジェクトを推進します。

イベント当日はあいにくの空模様となりましたが、オルビスやポーラ・オルビスホールディングス従業員とその家族計81名が参加し、開会式での田辺篤甲州市長のご挨拶のあと、約2時間でヒノキやクヌギ、ヤマザクラなど1,500本を植栽しました。

オルビスは1984年の創業当時より「地球に生かされている私たち」という考えのもと、事業活動において様々な環境負荷低減の取り組みを行ってきました。

2002年からは公益財団法人オイスカ、行政と協働で、山梨県内における環境保全活動を開始。これまでに甲府市「武田の杜」の森林整備(2002年～)、鳴沢村富士山麓での「富士山の森づくり」プロジェクト(2007年～)で毎年春と夏の年2回、多くの従業員がボランティア参加してきました。「武田の杜」での活動は、その継続的な取り組みに対して、2006年、山梨県知事より感謝状が授与されました。

今年スタートした「甲州市オルビスの森」のプロジェクトでは、今後10年にわたり、地域の方々を含めた様々な人が集う里山としての再生を目指していきます。

※東京ドームの敷地面積を46,755㎡として換算

オルビスでは環境への取り組みを専用サイトでご紹介しています。
社員によるブログ「エコログ」も連載中です。
是非こちらもご覧ください。

<http://www.orbis.co.jp/corp/csreco/eco.html>

【本件に関するお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス 広報・IR室(担当:小川)

Tel 03-3563-5540/Fax 03-3563-5543